

研究のために、あなたのカルテの情報を使用させて頂いております

◎対象となる患者さん：当院へ搬送された院外心停止の患者さんのご親族

1. 研究の題名 『 病院外心停止に対する包括的治療体制の構築に関する研究 』

＜研究期間＞ 令和4(2022)年8月8日 ～ 令和10(2028)年5月31日

2. 利用目的 及び 利用方法

＜利用目的＞ 院外心停止例の搬送先病院の治療体制、搬送後の集中治療内容を包括したコホートを確立し、院外心停止例の社会復帰率向上に寄与する適切な治療ストラテジーの検討を目的としております。

＜利用方法＞ 利用 ・ 提供

3. 以下の期間に上記(◎対象となる患者さん)を満たした方が対象です

＜対象期間＞ 令和4(2022)年8月8日 ～ 令和9(2027)年5月31日

4. 本研究で提供する試料・情報について

本研究に関して 診療記録 から 以下の情報を取得します。

1. 基本情報登録

＜病院情報＞都道府県、病床数(集中治療室(ICU)病床数、小児集中治療室(PICU)病床数)、救急病院種別、スタッフ数(医師、看護師)、専門医種別。

＜患者情報＞性別、年齢、救急隊時刻情報(覚知時刻、病院収容時刻)、適格基準

2. ウツタイン(病院前救護)記録

救命救急士乗車、医師同乗、普段の生活状態、心肺停止の目撃、発生場所、居合わせた人(バイスタンダー)による心肺蘇生、市民による除細動、救急隊時間経過(覚知時刻、現場到着時刻、患者接触時刻、隊員による心肺蘇生開始時刻、病院収容時刻)、救急隊到着時の状態、救急隊等活動中の 医師による 2 次救命処置、救急隊到着時の最初の心電図波形、除細動、最終気道確保器具、静脈路 確保、エピネフリン投与、病院収容前の心拍再開

3 病院到着後記録

病院収容時刻、ドクターカー・ヘリ出場、病院収容後の最初の心電図波形、12誘導心電図、中枢温度、身長・体重、病院収容後処置(除細動、気管挿管、体外循環、補助循環、心血管カテーテル検査、心血管ステント留置、低体温療法)、心停止中薬剤使用、患者背景、血液データなど通常の診療範囲内で行う診察や検査の結果、CPA に至った原因、病院搬入後の状態、積極的治療中止の有無とその原因、発症 1 ヶ月後生存、発症 90 日後生存、発症 1 ヶ月後の脳機能、発症 90 日後の脳機能、入院前および退院後の生活様式に関する情報、退院後の健康関連 QOL。

4 病院到着から退院(死亡退院も含む)/転院または入院 30 日までの入院医療費(DPC の E/F ファイル)(賛同が得られた一部の施設のみ記録)

5. 利用する者の範囲

取得した情報は、下記研究責任者において使用します。

＜研究責任者＞ 京都大学 環境安全保健機構 健康科学センター
教授 石見 拓

6. 情報の管理の責任者について

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様に責任を持ちます。

＜研究責任者＞ 京都大学 環境安全保健機構 健康科学センター
教授 石見 拓

＜飯塚病院＞ 循環器内科 川上将司

7. 試料・情報の利用 及び 他の研究機関への提供の停止を希望する患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの情報が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記の連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、患者さんやご家族が不利益を被ることは一切ございませんので、どうぞご安心ください。また、この研究に関する計画書を、研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

＜連絡先＞ 株式会社麻生 飯塚病院 0948-22-3800 (代表)

＜担当者＞ 循環器内科 川上将司